学者・法曹界が一堂に■「ママの会」30都道府県■宗教者、NGOも

# 共同 空前の規模

## 世代・分野超え

記者会見でプラカードを掲げる学者や法曹関係者＝26日、東京都千代田区の弁護士会館

戦争法案反対の運動は、各分野・階層で空前のスピードと規模で広がっています。

■弁護士

弁護士の強制加入団体である日本弁護士連合会（日弁連）は、節目ごとに決議や会長声明・談話を出してきました。

全国各地の弁護士会も戦争法案に反対する宣伝や行動を繰り広げ、26日には全国すべての52弁護士会から参加した弁護士らが東京都内に集まり、学者の代表とともに計300人で合同記者会見をしました。

■学者・研究者

幅広い学者・研究者でつくる「安全保障関連法案に反対する学者の会」のアピールには1万3507人から賛同が寄せられ（26日現在）、26日には東京都内で「100大学有志の共同行動」にとりくみました。全国の87大学の2583人が一堂に会しました。

■若者

首都圏の学生たちでつくるSEALDsをはじめ、各地に学生のグループが生まれ行動しています。

若者憲法集会実行委員会も各地で行動をつづけています。

8月2日には高校生らが結成したT-ns Sowl（ティーンズ ソウル）が主催して約500人が東京・渋谷をデモ行進しました。

■女性

女性たちが、赤い物を身につけて戦争法案反対をアピールする「レッドアクション」が全国の都道府県に広がっています。

子育て中の母親がフェイスブックでよびかけ、7月4日に結成した「安保関連法案に反対するママの会」。全国の30都道府県で「ママの会」がつくられました。

■宗教者

宗教・宗派をこえて「もう黙ってはいられない」戦争法案に反対する宗教者の会」が結成され、24日には幅広い宗教者19人がよびかけ、約500人が国会前で抗議行動をしました。

■NGO

海外で人道支援などにとりくむ非政府組織（NGO）も、戦争法案に反対する緩やかなネットワーク「NGO非戦ネット」を7月2日に設立。28日現在、呼びかけ人40人、賛同者450人、賛同NGO58団体になっています。

**学者・研究者**　「学者の会」アピール　賛同1万3507人。有志が声明を発表した大学 108

**若者**　全国21都道府県で集会やデモなど（8月23日）

**ママ**　全国30都道府県で「ママの会」。1万9489人のメッセージを各党国会議員に手渡す

**NGO**　「非戦ネット」呼びかけ人40人、賛同者450人、賛同団体58

## 米国の戦争に自衛隊が参加するための法案です

### 「戦争法案」でない？

安倍首相や与党は「戦争法案では断じてない。国民の命と暮らしを守る法案だ」と言い張ります。どこまで国民をばかにするつもりでしょうか。

今度の法案は、米国が起こすあらゆる戦争に自衛隊が参戦・軍事支援するものです。それは、法案の中身でも、自衛隊の内部文書を次々暴露し追及した日本共産党の国会論戦でも明々白々です。

法案は、これまで「非戦闘地域」に限定していた米軍への「後方支援」＝兵たん支援を「戦闘地域」にまで広げます。日本がどこからも攻撃されていないのに、集団的自衛権を発動して、米国とともに海外での武力行使に乗り出します。これが戦争法案です。

今から考えてみれば、なくて何なのか。「戦争に行きたくない」と法案に反対する若者たちを「極端な利己的考え」（武藤貴也衆院議員）と攻撃したことと自体、戦争法案だと告白したようなものです。

日本共産党が暴露した、陸・海・空自衛隊を束ねる統合幕僚監部作成の内部文書は驚くべき内容です。国会で戦争法案が審議中にもかかわらず、「8月中の成立・来年2月施行」を前提に新ガイドライン（日米軍事協力の指針）の実施を計画。自衛隊を「軍」と呼び、米軍との「軍事調整所」設置、日米共同の作戦計画のもとに自衛隊をおいて活動させることなど、戦争法案が新ガイドラインの「実行法」であり、自衛隊を丸ごと米軍の指揮下に組み込むものであることが明らかになりました。

「国民の命と暮らしを守る」どころか、国民・国会を無視し、憲法を日米同盟に従属させる戦後最悪の戦争法案です。

## 戦争法案 Q & A

「戦争法案は反対だが、中国、北朝鮮の動向が不安」「共産党はこの地域の平和をどう考えているのか」という質問を受けます。

たしかに北東アジアにはさまざまな緊張や紛争が存在しています。だからといって日本が軍事的に構えれば、相手はさらなる軍事で対抗し、軍事対軍事のとめどないエスカレーションという最悪の事態に陥ります。

紛争を軍事的な手段で解決することは不可能であり、対話に基づく外交努力を追求するしかありません。しかもその可能性は実に存在します。

南シナ海での領土紛争をめぐり、東南アジア諸国連合（ASEAN）と中国は2002年に「南シナ海行動宣言」（DOC）で合意し、問題の平和解決に踏み出しました。現在は同宣言を法的拘束力をもった「南シナ海行動規範」（COC）に結実させるための努力がつづいています。

またASEANは「東南アジア友好協力条約」（TAC）も締結し、紛争問題を平和的な話し合いで解決する枠組みを域外に広げています。

日本共産党はこのような地域の平和協力の枠組みを北東アジアにも構築するための、「北東アジア平和協力構想」を提唱しています。

具体的には、①域内の平和ルールを定めた北東アジア規模の「友好協力条約」を締結する②北朝鮮問題を、「6カ国協議」で解決し、この枠組みを地域の平和と安定の枠組みに発展させる③領土問題の外交的解決をめざし、紛争をエスカレートさせない行動規範を結ぶ④日本が過去に行った侵略戦争と植民地支配の反省は不可欠の土台となる――というものです。

いまでは日本にとって中国は、米国をしのぐ貿易相手国となっています。もし紛争が軍事衝突に発展してしまえば、両国は〝共倒れ〟となってしまいます。この意味でも対話・外交による紛争の解決こそが必要です。

## 外交努力で紛争解決 北東アジア平和協力を提唱

### 日本の安全 共産党の考えは？

紙面に埋め込まれた動画をお楽しみください

1 「アップストア」または「グーグルプレイ」からアプリ「junaio」をダウンロードします。

2 「junaio」を起動します。

3 「しんぶん赤旗」の題字にスマートフォンをかざして「スキャン」をタップします。

4 画面の枠線にロゴ全体が収まるようにスマホの位置を調整します。

「しんぶん赤旗」のPR動画が出現します！

## 「しんぶん赤旗」お読みください

●お申し込みは、お近くの党事務所または党員か、ホームページ、メールで受け付けています。

○日刊紙　月3497円　1部130円
○日曜版　月 823円　1部210円

日本共産党中央委員会
〒151－8586　東京都渋谷区千駄ヶ谷4の26の7
☎03－3403－6111　ファクス03－5474－8358
http://jcp.or.jp/　✉ info@jcp.or.jp

## 「しんぶん赤旗」　局面かえた論戦を報道／多彩な著名人登場

合同ブックレット
徹底議論！半田滋×川口創
集団的自衛権で日本を滅ぼしてもいいのか
戦争は秘密から始まる
秘密保護法でこんな記事は読めなくなる
日本新聞労組連絡会・新聞労連 編
●1600円＋税
合同出版
東京都千代田区神田神保町1-44
TEL03(3294)3507 FAX03(3294)3509
http://www.godo-shuppan.co.jp/

まだ気づいていないあなたと語る
セキララ憲法
金杉美和 著（弁護士・京都弁護士会共済部）
集団的自衛権行使容認の閣議決定、安保法制、自民党改憲案…。私たちを守る憲法の底力を、ママさん弁護士が自身の体験を赤裸々に語りながら、やさしく解説する入門書。
※本体1300円／四六判／158頁
「立憲主義の破壊」に抗う
川口創 著（弁護士）
安倍政権が進める「解釈改憲」による「集団的自衛権行使」容認の問題点をズバリ指摘。政権の見取図―国家安全保障基本法も徹底批判。
※本体1000円／四六判／111頁
新日本出版社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-6
TEL03-3423-8402 FAX03-3423-8419（代表）
www.shinnihon-net.co.jp

憲法を守り、平和な日本へ
いまこそ、改憲はばむ国民的共同を
――日本国憲法のあゆみと憲法会議の50年
憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）：編
A5判並製・二〇〇頁・定価一、八〇〇円（＋税）　ISBN：978-4-7807-1212-4
憲法会議が発足五〇年にあたって、これまでの日本社会における日本国憲法をめぐる攻防とその教訓を整理し、「改憲はばむ国民的共同を」と呼びかけるのが本書です。
本の泉社
東京都文京区本郷3-25-4　mail@honnoizumi.co.jp
FAX03(5800)6363　TEL03(5800)8494

かもがわ出版
軍事立国への野望
四六判280頁　定価2000円＋税
新刊出来！
アベ政治を許さない
新安保法制は日本をどこに導くか
柳澤協二・編著
A5判96頁　定価900円＋税
〒602-8119京都市上京区堀川通出水西入
TEL 075(432)2868　FAX 075(432)2869
http://www.kamogawa.co.jp

断り切りたいのだ。おばあちゃんの命をもってではなく、私たちの手で。
増刷出来
戦場ぬ止み
辺野古・高江からの祈り
三上智恵 著
（「標的の村」「戦場ぬ止み」監督）
新基地建設が強行される最前線で綴った撮影記。　46判・1400円
東京文京区本郷2-11　大月書店　電話03-3813-4651
メルマガ配信中 www.otsukishoten.co.jp 配送無料

アベ政治を許さない！憲法を守れ！平和を守れ！未来を守れ！
安倍壊憲クーデターとメディア支配
丸山重威 著
元共同通信社社長 元関西学院大学教授
本日発売
戦争法案絶対反対！運動の高まりを凝縮。
安倍政治の底流は何か？
それを支えているものは誰か、何か？等を整理。
安倍政権の狙いであるメディア支配の実態も解明。
安倍政権とその仲間を踏ったための厚身の書。
1章　集団的自衛権とメディア
2章　メディア支配への野望
3章　壊される「法」・むしばまれる言論の自由
●1400円
あけび書房
東京都千代田区九段北1-9-5（制作）
TEL03-3234-2571 www.akebi.co.jp